

救済エリアについて

113. カート道に球があったので、異常なコース状態からの救済を受けることにした。

次のプレーは9番アイアンを使用する予定であった。

完全な救済のニアレストポイントから9番アイアンを使用して救済エリアを決めた。

球をドロップしたら、10cm救済エリアから出たので、再ドロップを試みるために球を拾い上げた。

同伴プレーヤーから違反ではないかと指摘された。

この場合の罰と正しい処置はどれか？

- ① 罰なし (理由：救済エリアから球が出た)
==> 2回目のドロップを行なう
- ② 1罰打 (理由：インプレーの球を拾い上げた)
==> 正しい救済エリアにドロップする
- ③ 1罰打 (理由：インプレーの球を拾い上げた)
==> 拾い上げる前の元の箇所にリプレイスする



球が動いた場合の処置

114. ジェネラルエリアで球が落ち葉に寄りかかっていたので、落ち葉を取り除いたら球が動いた。

罰を受け入れて元の箇所に球をリプレイスする場合、落ち葉も元の状態に戻さなければならない。

この処置は正しいか？

- ① 正しい (落ち葉を同じ状態に戻す)
- ② 誤り (落ち葉は戻さなくてよい)



異常なコース状態に球が入った!!

115. プレーヤーが第3打目の距離70ヤードのアプローチをしたら球はグリーン右手前の修理地に入った。

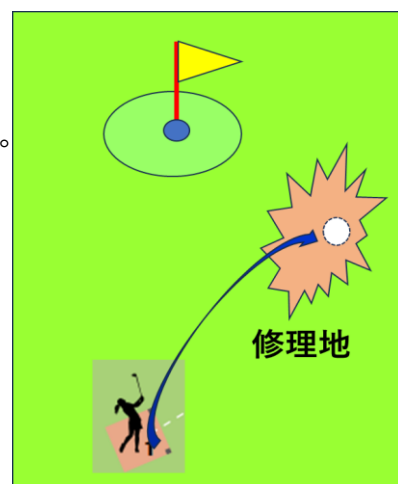
キャディーと同伴プレーヤー達も修理地に入ったのを見ていた。

その修理地はイノシシが掘り起こして荒れていた。

修理地の球を搜索したが、3分以内に球を見つけることが出来なかった。

この場面での正しい処置は？

- ① 球が見つからないので紛失球となる。
==> 前の場所からストロークと距離の救済を受け5打目を打つ。
- ② 修理地に入っていると判断できる。
==> 異常なコース状態からの救済が受けれる。(第4打目)



【解答／解説】

救済エリアについて

113. カート道に球があったので、異常なコース状態からの救済を受けることにした。

次のプレーは9番アイアンを使用する予定であった。

完全な救済のニアレストポイントから9番アイアンを使用して救済エリアを決めた。

球をドロップしたら、10cm救済エリアから出たので、再ドロップを試みるために球を拾い上げた。

同伴プレーヤーから違反ではないかと指摘された。

この場合の罰と正しい処置はどれか？

正解： ③ **1 罰打** （理由：**インプレーの球を拾い上げた**）
==> 拾い上げる前の**元の箇所**に**リプレイス**する

解説： ゴルフ規則オフィシャルガイド Page400 に記述

【定義】クラブレングス

ラウンド中にプレーヤーが持っている14本(またはそれ以下)のクラブのうち
パター以外で最も長いクラブの長さ

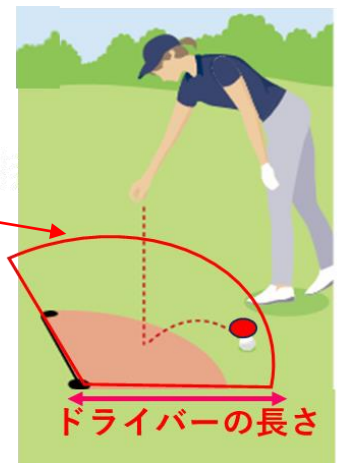


事実 **ドライバーで測定すると救済エリア内に球は止まっている**

裁定：インプレーの球を動かしたので**1 罰打**を受ける

(規則9.4aの違反 ---- プレーヤーが動かした)

処置：プレーヤーが動かした球は**元の箇所**に**リプレイス**する
(規則9.4aに記述)



ドライバーの長さ : 約120cm

9番アイアンの長さ : 約 95cm

補足：処置を誤った場合の罰は？ ==> **一般の罰 (2 罰打)**

① 無罰 （理由：救済エリアから球が出た）

==> 2回目のドロップを行ない救済エリアに入った球をプレーする

② 1 罰打 （理由：インプレーの球を拾い上げた）

==> 正しい救済エリアにドロップする

プレーヤー自身が拾い上げた／動かした球は**リプレイスしなければならない**。（規則9.4）



リプレイスせずに誤所からプレーした場合、一般の罰だけを受ける（規則14.7の違反）

*** 拾い上げの1 罰打は付かない（重複の罰の例外）**

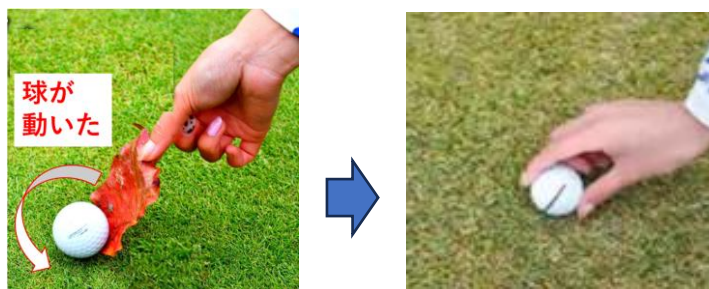
球が動いた場合の処置

114. ジェネラルエリアで球が落ち葉に寄りかかっていたので、落ち葉を取り除いたら球が動いた。

罰を受け入れて元の箇所に球をリプレイスする場合、落ち葉も元の状態に戻さなければならない。

この処置は正しいか？

正解： ② 誤り （落ち葉は戻さなくてよい）



解説： ゴルフ規則 Page142 ゴルフ規則オフィシャルガイド Page248 に記述

規則 15.1a ルースインペディメントの取り除き

コース上やコース外のどこでもプレーヤーは罰なしにルースインペディメントを取り除くことができ、その方法は問わない

しかし、2つの例外がある：

例外1－球をリプレイスしなければならない場所にあるルースインペディメントを取り除くこと：

パッティンググリーン／ティーイングエリア以外の場所

- ・ルースインペディメントがその球を動かす原因となる可能性がある場合、**故意に取り除いてはならない。**

- ・プレーヤーが球を動かした場合、そのプレーヤーは**1 罰打**を受ける。



しかし、**その取り除いたルースインペディメントを元に戻す必要はない**

補足-1： 球の搜索中に偶然に球を蹴飛ばした結果、球の下にあった落ち葉や小枝などが動いた場合

- ・無罰で、球を元の箇所か推定箇所にリプレイスする。

- ・球と同時に動かされた落ち葉や小枝（ルースインペディメント）は**元に戻す必要はない。**



（規則7.4/1、7.4/2 詳説）

ゴルフ規則オフィシャルガイド Page132 に記述

補足-2： リプレイスする時のルースインペディメントとの関係（パッティンググリーン以外の場所）

- ・落ち葉の上にある球を確認するため、マークして拾い上げた場合

==> 球をリプレイスする前に、**落ち葉を取り除いてはならない。（1 罰打）**

==> 球をリプレイスする前に、**落ち葉が風などで無くなった場合、そのままリプレイス**



《 **落ち葉を戻す必要は無い** 》

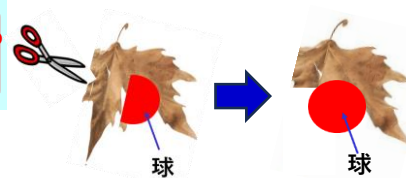
（規則15.1）

補足-2： ルースインペディメントの取り除き

- ・色々な方法で、他人の援助も可能 ==> **落ち葉、枯葉を切る**

（規則15.1a）

小枝を折る



異常なコース状態に球が入った!!

115. プレーヤーが第3打目の距離70ヤードのアプローチをしたら球はグリーン右手前の修理地に入った。

キャディーと同伴プレーヤー達も修理地に入ったのを見ていた。

その修理地はイノシシが掘り起こして荒れていた。

修理地の球を搜索したが、3分以内に球を見つけることが出来なかった。

この場面での正しい処置は？

正解： ② 修理地に入っていると判断できる。 (95%以上の確率)
==> 異常なコース状態からの救済が受けれる。(第4打目)

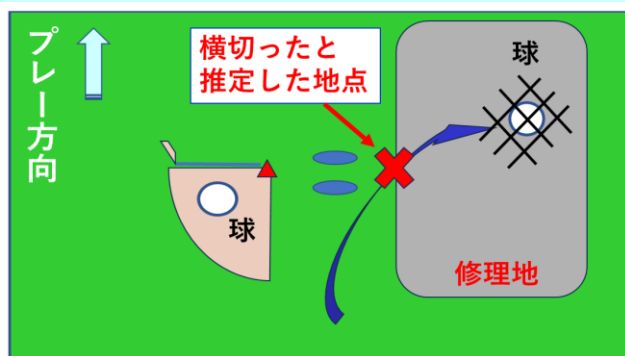


解説： 2023年ゴルフ規則 Page154 に記述

16.1e 異常なコース状態の中や上にあるが見つからない球の救済

プレーヤーの球が見つかっておらず、**その球がコース上の異常なコース状態の中や上に止まったことが「分かっている、または事実上確実」な場合**、そのプレーヤーはストロークと距離の救済を受ける代わりに次の救済の選択肢を使用することができる：

- プレーヤーは、球がコース上の**異常なコース状態の縁を最後に横切ったと推定した地点**にその球があったものとして決定した完全な救済のニヤレストポイントを使用して**規則16.1bジェネラルエリアの球に対する救済救済を受けることができる。**



定義： 「分かっている、または事実上確実」な場合とは、**95%以上の確率**

⇒ キャディーと同伴プレーヤーも認めているので、**95%以上の確率があると判定する。**

補足-1： **95%以上の確率が判断が必要な場合がある**

- 1) 200ヤード遠い所の修理地に入った
- 2) OBゾーンと隣接する修理地に入った

補足-2： 積雪の中に球が入って見えない場合の処置

==> 横切った地点に球があると推定して救済出来る ➡

